

# ひらく

●一点を支点としてひらく●窓・扉をひらく●道をひらく●口・目をひらく●花がひらく●運をひらく●文化をひらく●インターネットをひらく●新聞・本をひらく●講座・会をひらく

—— 未来をひらく、心をひらく ——

特集・1

ひとりだってつながっている

特集・2

「ひとり」の味方



25

男女共同参画社会をめざす



# 男女共同参画センター“ひらく”最近の動き

センター便り・No.9

## 男女共同参画推進条例のパンフレットをご覧ください

小平市は、「小平市男女共同参画推進条例」を市民の皆さんに理解していただくため、リーフレットを作成し、5月から配布を始めました。リーフレットは大人用と子ども用があり、子ども用は、ご覧のように、「男女共同参画ってなんだだろう」「なぜ条例が必要なの?」といった素朴な質問から「男女共同参画を進めるための7つの考え方」まで、一目でわかるようになっています。市内の小学校では、高学年の子どもたちに「男女共同参画」の大切さを学ぶ教材として配布されています。市民の皆さんも手に取ってご覧ください。



## 条例制定記念事業に、落語家「柳亭こみち」さん

6月28日には中央公民館のホールで、小平市出身の落語家、柳亭こみちさんを招いて「男女共同参画推進条例」制定記念事業が行われました。落語界という「男社会」に飛び込んだ苦勞話も面白かったのですが、本職の落語にな

ると水を得た魚のように、生きのいい話し方で集まった市民の笑いとハートをがっちりつかまれました。柳亭こみちさんの今後に、拍手です。

## 男女共同参画センターにカフェひらく、オープン

6月29日には、男女共同参画センター“ひらく”に、「カフェひらく」がオープン。久々にたくさんの市民が参画センターを訪れて、おいしいコーヒーとパン、ケーキを味わいながら心温まるひとときを過ごしました。これを機会に、参画センターは「会議室」から「カフェスタイル」に一新。素敵なテーブルクロスが訪れる人をなごませています。あなたも是非、参画センターにお越しください。

## ベトナム山岳地帯で出会った少女の笑顔 ～鈴木さよ子(元実行委員)～



棚田／  
よく目を凝らすとポツポツと牛と人が動いている。平地が少ない山岳地帯、人と牛の力で作られた棚田の広さと美しさに圧倒される。

10年間、パルシステム東京が組合員からの平和カンパを進呈してきたJVCのベトナムでの支援が今年終了する。そんな組合員の一人として交流と成果の確認のツアーに参加し、ハノイから北西に100キロの山岳地帯ホアビン省を訪れた。

現地でお世話になった伊能さんは、「時間をかけてその村にあった自活の方法を提案しながら村人と考えていく」と言う。その後、JVCを辞めてNGOを立ち上げ引き続きベトナムの支援をしている。村の人に慕われ頼りにされている日本の女性の活躍がうれしい。



今も心に残る笑顔。またいつか会いたい。

民族衣装／

畑に乾されていたムオン族の女性の民族衣装。ここに暮らしがあることを改めて強く感じた。



パルシステム東京：生活共同組合のひとつ  
JVC：日本国際ボランティアセンターの略。  
伊能さんのNGO：<http://seed-to-table.org/>

料理コンテスト／

生きた鶏をあっという間にさばき、貴重な蛋白源のねずみはゴム鉄砲で仕留め乾燥させて使う。地の食材を使い限られた予算で家族の食事を作る。JVCが企画した料理コンテストを通じて食を学ぶナムソン村の女性たち。



# ひらく

第25号  
平成21年10月発行

発行/小平市次世代育成部青少年男女平等課  
☎042-346-9618 FAX 042-346-9200

企画・編集/男女共同参画推進実行委員会

広報誌『ひらく』部会

相京香代子 北川 紘二 笹 和紀  
笹尾かをる 佐野 里美 谷原 裕子  
藤澤 則子